2022年度「学校評価結果報告書」

大阪集成学園

当園ではこの度、2022年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び学校関係者評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

Ⅰ. 教育目標

当園は子供たちの無限の可能性を伸ばすために、その人格形成の基礎となる大切な幼児期を、のびのびと明るく楽しく、すくすくと元気に、また、心優しく情操豊かに過ごせるよう、さまざまな経験や活動を実践しています。

Ⅱ. 今年度の重点目標

●教職員の資質向上　●安全管理体制の充実　●家庭との協力・連携　●サービスの向上

Ⅲ. 評価項目と取組み状況

評価項目		取組み内容	評価	取組み状況
1	教職員の資質向上	読み聞かせは本園の特徴であるため、今度も継続していき、子どもだけでなく職員の心の成長にもつなげていきたい。 読み聞かせが特定の職員に偏ることのないよう、若手職員にも前に出る場を積極的に作っていく。 これまでは園長先生が良い絵本を選んで下さっていたが、職員もその力を育んでいく必要がある。	A	毎日行っているお部屋での絵本の読み聞かせや、全学年合同朝礼、紙芝居を通じて、子どもたちが文字に興味を持ち、自力で読めるようになっている。その結果として、集中力や聞く力、想像力など様々な面を育むことができている。 また読み聞かせの際には、職員ごとに工夫を施しており、先輩職員の良い点を後輩職員が学ぶ機会にもなっている。
2	安全管理体制の充実	コロナウイルス感染症の感染拡大を最小限に抑えるために予防策や独自のルールを考案し徹底した。バスの置き去りや保育現場で起きている様々な事故について職員会議で話し合う。	A	防災に関するお話を聞いたり、災害に関する絵本も積極的に読むことで、子どもたちだけではく職員も学びが多かったように思う。コロナウイルス感染症の感染拡大により日頃の訓練をする頻度が減っているため、園内研修等で安全管理について話し合っている。またバス置き去りに関しては、チェックリストを使い情報共有することが徹底することができている。
3	家庭との協力や連携	園で少しでも気になったこと等を伝え、家庭での様子を共有する。今後も連絡ノートや電話なども活用しつつ、可能な限り直接コミュニケーションをとっていきたい。 また、園長先生にも密に報連相を行うことで、適切な返答や会話を行い、ご家庭との信頼関係作りにもさらに力を入れていきたい。	A	従来通り、連絡ノートや電話も使って保護者と密な連絡をとることや、行事で子どもの普段の様子を見てもらうなどして、保護者に安心してもらえるように意識している。 園長先生への報告ははもちろんのこと、学年での情報共有も意識的に実施している。

2022年度「学校評価結果報告書」

大阪集成学園

評価項目		取組み内容	評価	取組み状況
4	サービスの向上	ベテランと若手との間に力量に差があるのは当然のことなので、ベテランはフォローしながら教え育てる、新人は自ら積極的に相談して動く、といった意識を引き続き維持する。 その結果、幼稚園全体のレベルアップにつなげていきたい。	B	先輩と後輩の世代間ギャップが見受けられることがあった。後輩職員は素直に指導を受け止め、先輩の保育を見ながら学んでいく、分からないことはすぐに確認する、といった姿勢をもつ必要がある。 一方の先輩職員は、先輩から後輩へ歩み寄ることや、自分が若手の頃に失敗した経験などを思い出しつつ相手を受け入れる心掛けが必要だと感じる。 より良い教育を提供するためには、職員同士のコミュニケーションも重要であるため、引き続き職員間の連携を重視していきたい。

【評価の基準】

S	十分達成されている
A	達成されている
B	取組まれているが、成果が十分でない
C	取り組みが不十分である

Ⅳ. 今後取り組むべき課題

1	教職員の資質向上	読み聞かせの技術を習得するには一定の研修や経験が必要である。各クラスでは担任が読み聞かせを行っているが、合同集会では読み聞かせを行う職員が固定されつつあるので、当番制にするなどして若手にも経験を積ませられるようにしたい
2	安全管理体制の充実	どこで何が起こるか分からないという意識を保育者は常にもち、様々な防災・防犯対応ができるような訓練を引き続き行っていきたい。
3	家庭との協力・連携	保護者との積極的なコミュニケーションを取り、園長先生だけでなく学年でもしっかり情報の共有を行うことを園全体で徹底していきたい。
4	サービスの向上	各学年ベテランと若手がペアとなって配置されている状況なので、先輩に任せてしまうことなく若手は自ら積極的に学び・動くことを意識する。

Ⅴ. 学校関係者の評価

≪学校関係者①≫園内でのコロナウイルス感染症感染拡大が最小限に抑えられており、日頃から子どもたちに手洗い・うがい・歯磨き・顔洗い指導が徹底・実践できているのがよくわかります。今後も継続して丁寧な指導を期待しております。

≪学校関係者②≫
ゲームやタブレット等の普及やコロナウイルス感染症の拡大により子どもたちが外で身体を動かす機会が減少し、子どもたちの運動能力・体力が低下してきている。そのような状況の中でも守口幼稚園の子どもたちは幼稚園の広い園庭で走り回り、心身共に大きく成長することができていると思います。これからも幼稚園の教育の質を維持し、さらなる発展を願っております。

≪学校関係者③≫
守口幼稚園の子どもたち・先生はいつも元気よく挨拶をしてくれます。挨拶や感謝などの礼儀作法を大切に指導・徹底されているのがわかります。園長先生はじめ教職員の連携がしっかりと取れているチームワークの良さも見受けられ、これからも質の高い教育を目指し、精進してください。

≪学校関係者④≫
保護者との信頼関係が上手く築けているように思います。また地域の方々や卒園生・卒園生の保護者との交流もあり、１つの拠り所としての存在になっていると感じました。これからも幼稚園の発展を願っております。

≪学校関係者⑤≫
幼い子どもたちの人間としての一番大切な時期に良い環境で人格形成の根幹・基礎土台を育まれることは素晴らしいと思います。園庭が広く、自然が豊かな環境も守口幼稚園の特色です。コロナ禍で大変な中、子どもたちの感染拡大・職員間の感染拡大も最小限に抑えることができており、これからも安心安全な環境づくりに努めて下さい。

≪学校関係者⑥≫
質の高い教育を目標として、音楽教育・情操教育が行われている。先生方が常に向上心を持ち、子どもたちが様々な経験できる環境が整備されているように思います。これからも心ある教育を継続し、優しさあふれる幼稚園を築いてください。

≪学校関係者⑦≫
防災教室等が開催され積極的に防災教育に取り組まれていると思います。災害のおそろしさなどを伝えるだけでなく、危ないことがある・気をつければ良いこと、身を守るなどの安心安全の生活の基礎を養うことは大切である。優しさあふれるたのしい幼稚園を築いてください。